

五小っ子

平成30年度 学校便り第3号 (4月23日)

島原市立第五小学校
校長 永田 俊文



いのち **学校教育目標**
『生命を大切にし、進んで学ぶ
心身ともにたくましい子どもを育成する』
○ やさしさいっぱい ○ かしこさいっぱい ○ たくましさいっぱい
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

育友会新体制がスタート

4月20日(金)に行われた第五小学校育友会総会において新しい育友会長、北尾さんをはじめ

次の方々の本部役員案・事業計画案・予算案が承認され、平成30年度の第五小学校育友会がスタートしました。

約170名の参加、誠にありがとうございました。

育友会活動は五小っ子の健全な成長のための活動です」会員皆様のご理解・ご協力なくしては成り立ちません。

「できる事を できる人が できる時に」という気持ちで一年間の活動を支えていただければと願っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



—本部役員の皆さんです—
(会長) 北尾 司
(副会長) 横田 健 有馬敏雄 横田友美
安永久美子
(監査) 川田昌輝 小嶋晃生 園田理恵
高原房江

「やさしさいっぱい」「かしこさいっぱい」「たくましさいっぱい」これが本校の教育目標として掲げている子ども像です。

世界中全ての親にとっての共通の願いでもあると思いますし、友だちとの色々な関わりの中で、わが子だけでなく周りの友だちと一緒にそんな子どもになってくれると更に素晴らしいはずです。

時には友だちとの関係にもがき苦しむ時期もあるでしょう。「わが子にどう向き合えば良いのだろうか」と親も悩みます。育友会活動の中にそのヒントを見つける事ができる、育友会活動は大変だけど大切な活動であると私は確信しています。

※授業参観と学級部会もありがとうございました。(写真は1年生授業参観)



学校教育目標

初夏を思わせる朝陽を浴びながら登校する子どもたちの笑顔にも輝きが増しているように感じます。

始業式から、雨の日も校門前の交差点や通学路の各要所で子どもたちの安全を見守ってくださる地域と保護者の皆様にあらためてお礼を申し上げます。

いのち さて、『生命を大切にし、進んで学ぶ心身ともにたくましい子どもを育成する』

これが第五小学校の学校教育目標です。めざす子どもの具体的な姿を

「生命(いのち)を大切に子ども・進んで学ぶ子ども・心身ともにたくましい子ども」としています。

本年度は全ての子どもたちにも分かりやすいように「五小の皆さん、『やさしさいっぱい・かしこさいっぱい・たくましさいっぱい』の子どもになるように頑張るのですよ。」と話しています。保護者、地域の皆様にもご理解いただきますようお願いいたします。

- やさしさいっぱい (いのち 生命を大切に子ども子ども)
- かしこさいっぱい (進んで学ぶ子ども)
- たくましさいっぱい (心身ともにたくましい子ども)

今年度は右の『五小五つの教え』も加えました。雲仙普賢岳災害以来、本市の教育基盤である『生命・きずな・感謝の心』の意識をもっと高めて欲しいからです。

親：自分がお世話になっている全ての大人を含みます

島原市いじめ防止条例第9条には、「子どもは自分を大切にしましょう。」と規定されているのです。全校集会をはじめ、色々な機会に伝え続けて参ります。

☆五小、五つの教え

- いのち
- 一、生命を大切にせよ
- 一、親を大切にせよ
- 一、感謝の心を大切にせよ
- 一、自分を大切にせよ
- 一、まじめにせよ



なかなおり 金子みすゞ
げんげのあぜみち 春がすみ
むこうにあの子が立っていた
あの子はげんげを持っていた
私も げんげを つんでいた
あの子が笑うと 気がつけば
私も知らずに 笑ってた
げんげのあぜみち 春がすみ
パイチク ひばりがいないいた